



母の残した覚書

柴田由紀子

母が亡くなり十七年になります。  
筆まめの母が亡くなったあと見つけたレポート用紙に書かれた覚書。  
年月と仏事と寿と父母の年齢が分かれて書かれていました。  
忘れかけていた覚書を探したのは、「たまたて箱」の家族歴を書くため。  
両親のことは覚えていても祖父母のことまでは分からず、すべて記されていました。  
曾祖父母から親族の仏事は法要など忘れないためのものでしたが私には亡くなった人たちに思いを馳せる時間になりました。  
加えて寿に関しては孫のことから甥姪のことまで記念日や入学などお祝いを忘れないように書かれていました。  
古びたレポート用紙は父の年齢が五十二歳から七十一歳まで書かれており六十五歳で永眠した時間まで残されていました。  
誰のためでもなく自分の覚え書きとして作成したものが今、また私の中でぬくもりとして残されました。  
この続きは私が「たまたて箱」の中に母の覚書と一緒に残していこうと思います。

■10月4日（土）第2回勉強会＝「私のたまたて箱」を開いてみましょう

●2025年6月14日（土曜日）に、新しい「私のたまたて箱」の第1回勉強会をし

①私のカルテ ②終末期の意思表示書 ③遺言書の書き方 ④お別れとその後の手続き  
を書き込めるように話し合い、分かち合いをしました。

●10月は、「私のカルテ」が書けたかどうかの確認 ②「終末期の意思表示書」をどう捉えるか意見交換などを行いました。  
運営委員 難波清子 橋詰清子

【感想文より】

- ★・治療と延命の境界=生きることと死ぬこと。
- ・意思表示書は公開しておくともめごとが少ない。
- ・最後の交流の大切さを感じました。  
皆さんの体験談など、とても参考になりました。
- ・「終末期の意思表示書」心して書き残したいと思います。



- ★私の意思表示と共に、その思いを家族や周りの人々にも伝える大切さを感じました。  
意思表示については、まだまだ考えなければいけないことがたくさんあるように思いました。

★大変参考になるお話が多く参加して良かったと思いました。

自分の親、自分の先々を考えるようになりました。

意思表示はとても大切だと思いました。



★なかなか書き込みができない自分に反省をしています。

今日も、橋詰さん、難波さん、柴田睦さんのとてもためになるお話が聞けて良かったです。

これからの考え方の参考になりました。



★終末期の意思表示書を、しっかり記入したいと改めて思いました。

日ごろの生活を見直し、一日一日を感謝し穏やかに過ごしたいと思います。良い機会を与えてくださり、運営委員の方、会員の方に感謝しております。ありがとうございました。

★皆さんの体験が聞けて良かったです。

★久しぶりに参加しましたが、相変わらず話しすぎてすいません。

病気や医療の事は知っていただいた方が安心できると思います。

自分の意思表示はまわりの方に知って置いていただく事の大切さを知りました。

★折角ですから次回も「たまたま箱」で最後まで勉強したいと思います。

★「本人が延命を望まなくても、若い子供たちはどう思うか」という意見に、心が動きました。

皆さんがこのたまたま箱を大切にしていられっしやることを知り、やはり最期のことは、自分で家族と共に決めたいと思います。

★終末期の意思表示は必ず書いておこうと思いました。

★多忙の中、係の方、ご苦労様です。

たまたま箱、改めて再度しっかり書きたいです。

一応、仏殿の中に自分が選んだ時は延命の事はメモってますが。

★貴重なお話をたくさん聞かせていただき、ありがとうございました。

まだ先の話と思わず、イザと言う時に困らないよう家族で

しっかり話し合いたいと思います。

久しぶりにみなさんにお会いできて嬉しかったです。

子供を可愛がってくださり、ありがとうございました。



★終末期の意思表示書について、自分の終末期に対して迷いはないのですが、この先娘たちにもどのようなことがあるか分かりません。生と死について、この後しっかり考えていきたいと思いました。

※病気別の死について、前の勉強会でしっかりやったようですが、私は欠席してしまいましたが、機会があれば、学びの時があるといいと思います。

★私の意思表示書の大切さがよくわかりました。

〈わたしのカルテ〉を書いた後、筆が止まってしまった私ですが、今一度、気を取りなおして書きたいと思います。

※意味のある延命・ない延命について今一度、学習したいです。

★病歴を書いておく事は、子供への(体質的)遺伝があるかもしれないので大事ですね。

6年前に父を亡くした時、最後の3日間は、呼吸がとても苦しかったです。医者は「眠らせましょうか?」と言いました。

今でも、眠らせてあげたほうが良かったかと、後悔しています。

13年前に、母を送った時は、意識障害(脳卒中による)で、3年間と半年間、自宅で胃ろうで看取りましたが、本人の意思は分かりませんが、本人の意思は聞けませんでした。

たまた箱を、子供たちのために、書いておきたいです。

※遺言書の勉強もしたいです。

2冊目の「たまた箱」を作っていただきありがとうございます。



## “つどい”の報告

患者・家族・遺族(誰もが遺族)の集まり

第4木曜日 10時～12時 社会福祉センター(第2活動B室)

10月に2回目の勉強会がありました。

「私のたまた箱」への記入は、私のため、残される人のためへの大事な意思表示です。

感謝の気持ちも込め、大切に記入したいと思っています。

勉強会の最後には参加された方々の近況や思いを話して頂きました。

短い時間でしたので、話したりない、伝えたりない方もみえたかと思います。

良かったら“つどい”に参加してみませんか。

“つどい”では毎月参加された方々が、色々なお話をされます。安心してお話できる場となるようにと心がけています。お待ちしております。(神尾弘美)

## 緩和ケア病棟ボランティアの報告

岡崎市民病院緩和ケア病棟ボランティア室

毎週金曜日 13時45分～15時 ピアノ演奏と見守り



10月18日に市民病院フェスティバルが行われました。

緩和ケアのブースにはアニマルセラピーで緩和ケア病棟に参加されている可愛いわんちゃんたちがいました。

私たちは訪れた方にボランティアの様子をお話したり、お土産として使う折り紙で金魚や小鳥や駒を作り配りました。

現在は第4水曜日にアニマルセラピーのわんちゃんたちが訪れる時にも患者さんの見守りとしても私たちは参加しています。(柴田由紀子)

## アロママッサージの報告

社会福祉センター 第1水曜日 13時～15時 誰でも参加OK 材料費 300円  
熱いタオル6本 バスタオル1枚 大きなゴミ袋(可燃不燃ポリ何でも可)

^今回は、皆さんのアロマ体験談のご紹介です。

- ① 夜中に不安で何回もトイレの為に起きてしまうという方に、不安対策+安眠レシピをお渡し。  
オレンジ、マジョラム、サンダルウッドのブレンドを、就寝前みぞおちや手首に塗布してもらいました。

夜起きることが減ったということで、愛用してくださっています。

- ② 坐骨神経痛がツライという方に、代表の柴田さんが作ったブレンドオイル。

痛みが和らいだということで、口コミで広がり他にも欲しいと言う方がたくさん。

良い香りに包まれて、自分でマッサージするケアの時間も楽しんでいただけているよう。

- ③首にできたイボが気になるということで、毎日オレガノ(※要希釈)を塗っていたところ、ポロッと取れたとのこと。

こんな風にお悩みを相談、試してみてくださいくださった皆さんのおかげで、自分だけでは経験できなかったアロマの力をたくさん見させてもらっています。

いつもありがとうございます。

これからも皆さんといろんなことを共有できたらと思います。(羽田小百合)

11月18日に亡くなりました。(41歳)  
11月5日はご指導下さったのに。お祈り下さい。

## “手縫い”の報告

岡崎市民病院・国際病院・施設などへ依頼された品を作り届ける。  
第2月曜日 10時～12時 カトリック岡崎教会



「ギョットちゃん」

「ギョットちゃんを作ってもらえませんか？」と社会福祉センターの方から依頼をされ、手縫いの会で引き受けました。

ギョットちゃんと言うのは、犯罪被害者等の支援のシンボルマークをマスコットにした物です。目、鼻、口をつける位置によって一体一体顔が違って  
愛らしいマスコットが20体完成しました。

先日、福祉センターで市内のボランティア三団体で

計60体のギョットちゃんの譲渡式があり

表彰状を頂いてきました。

今後、愛知県内の警察や市役所の窓口に置かれるそうです。

犯罪被害にあった方々、そのご家族の方々、辛い思いをされて気持ちも沈みがちな時に

白・ピンク・赤のフェルトでできたギョットちゃんを見て少しでも心と和みますようにと思い  
を込めて・・・。

(加藤典子)



## あとがき

勉強会の最後に、皆さんお一人お一人が話をし、感想文にも詳しく書いてくださったのを読んでみて「私のたまて箱」を皆さんと一緒に作って良かったなあと感謝しています。

私も78歳になり自分の死を見つめ、残される家族のために良いプレゼントとなりました。

たった一度だけの人生。誰かの幸せのために生きたい。

(橋詰清子)